

# ぐるみ

広報誌

平成 27 年度

第 2 号

～地域のこれからを考える～  
多面的機能支払交付金

## ～今号のトピックス～

- ◆ 協議会からの情報提供  
H27 交付金の取り組み状況  
施設の長寿命化に係る抽出検査  
H27 活動支援研修会の報告
- ◆ 活動事例発表
- ◆ 総会・各種会議の開催状況
- ◆ 協議会からのお知らせ



第2回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト入賞作品「耕野の宝」



### ◆宮城県内の平成 27 年度多面的機能支払推進交付金の取組状況について

宮城県内では、昨年度まで 29 市町村、約 780 組織が本交付金を活用して活動に取り組んでおり、県全体の農振農用地の 52% にあたる 62,000ha をカバーしていましたが、今年度は、女川町と利府町を除く 33 市町村、約 950 組織で取り組むこととなり、県全体の農振農用地の 58% をカバーする 70,000ha で活動を行っています。

今後は、東日本大震災で被災を受けた農地の復旧・復興と併せ、さらなる取り組みの拡大が見込まれています。



### ◆資源向上（施設の長寿命化）に係る東北農政局の抽出検査が行われました

去る 8 月 20 日と 26 日の 2 日間、資源向上支払（施設の長寿命化）及び復旧活動に係る東北農政局の抽出検査が行われました。今回は大崎市、加美町、栗原市の活動組織 9 組織が抽出検査の対象となり検査を受けました。

組織ごとに書類と現地の施工状況について検査が行われ、書類検査では、施設所有者等との工事確認状況、施工業者からの見積りの徴収方法（注文内容及び仕様）、契約書の記載内容、受入確認の方法、通帳や金銭出納状況などについて確認が行われました。また、現地検査では、実施状況報告書との差異がないか実測を行うとともに施工状況の確認が行われました。

今年度から、資源向上支払交付金（施設の長寿命化）の交付を受けていない活動組織でも、活動計画書に「施設の長寿命化」に係る活動内容及び延べ数量・年度計画等を記載し、所管市町村から認定を受けることにより、現行の農地維持活動及び資源向上活動（共同活動）として、交付金の 3 割を上限として長寿命化に係る活動を実施することが可能となっています。

施設の長寿命化に係る活動を行う際には、市町村等からの指導、助言を受け、安全に配慮して施工するようお願いいたします。



書類検査の様子



現地検査の様子

## 「平成 27 年度多面的機能支払に係る活動支援研修会」を開催しました

去る 7 月 23 日から 8 月 3 日にかけて、宮城県内で多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいる組織を対象に『多面的機能支払に係る活動支援研修会』を県内 7 会場で開催しました。県全域から約 800 組織、総勢約 2,000 名のご参加をいただきました。

研修会では、「多面的機能支払交付金」の経理事務や活動が適正に行われるよう、新規の取り組み組織に分かり易い内容で研修を実施しました。

具体的には、活動に関する事務の方法、様式の記入方法、留意事項、抽出検査、中間指導等の説明を行い、各活動組織の取り組みが滞りなく進められるよう支援しました。その他、東北農政局土地改良技術事務所のご担当より「施設の長寿命化の活動について」の説明の他、活動組織からの事例発表もいただき、充実した研修会となりました。

なお、研修会資料につきましては、本協議会ホームページ「各種データ及び様式」の「各種資料」でも閲覧することができますのでご利用ください。

### 【研修内容】

- (1) 活動に関する事務等について
- (2) 活動の実施等について [ 農地維持活動、資源向上活動 (共同活動) ]
- (3) 活動組織からの事例発表
- (4) 活動の実施等について [ 資源向上活動 (施設の長寿命化) ]
- (5) 組織の運営等について
- (6) 抽出検査・中間指導等について
- (7) その他

### 【事例発表された活動組織】 (各会場 1 組織)

えずこホール	八宮地区環境資源保全会 (白石市)
成田公民館	笠島ふる里集落資源保全隊 (名取市)
中新田バッハホール	内ノ浦地域農地・水・環境保全管理協定 (大崎市鹿島台)
栗原文化会館	曾根地域環境を守る会 (栗原市一迫)
登米祝祭劇場	津山農地水環境保全隊 (登米市津山)
石巻市ビックバン	新田地区環境保全会 (東松島市)
はまなすの館	宮内地区地域資源保全会 (気仙沼市)



7 月 23 日 えずこホール



7 月 24 日 栗原文化会館



7 月 28 日 はまなすの館



7 月 29 日 バッハホール



7 月 30 日 登米祝祭劇場



7 月 31 日 ビックバン



8 月 3 日 成田公民館





## 活動事例紹介

「平成27年度多面的機能支払に係る活動支援研修会」におきまして、各会場で1組織、計7組織の活動事例発表をいただきましたのでご紹介いたします。

### 八宮地区環境資源保全会（白石市）

組織概要 取組：H19～ 面積：105.4ha（田 85.6ha、畑 19.8 ha）  
構 成 員：農業者 147 名・非農業者 49 名・4 団体

平成 26 年度 交付金	農地維持支払交付金	2,965 千円
	資源向上支払（共同活動）交付金	1,755 千円
	資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	一千円



発表者の日下氏

地域の概要 本地区は白石市の北部に位置し、農用地は標高 50～400mの中山間地域に散在している。

取組みの概要 組織は 4 つの自治体と法人化している生産組織と連携しながら、農用地及び農業用施設の保全・維持管理を行っている。

(1) 地域環境を整備し農村作りを目指す。

- ・用水路・農道等の整備
- ・4 地区花作り運動の展開…集会施設・こけし村・農道等周辺
- ・次世代（子供達）と自然を楽しむ運動の展開…水生生物観察会、環境浄化ポスターの掲示

(2) 全戸参加型作業の実施

- ・全戸当番制により、年間活動スケジュールを設定し、当地域の環境整備を図る

(3) 遊休農地の防止

- ・年度毎に優先順位を決め荒廃農用地の発生を防止する

※平成 24 年度	ひまわり畑に転換	30a
※平成 25 年度	ひまわり畑に転換	10a
	はす田に転換	15a
※平成 27 年度	はす田に転換	15a

課 題

- (1) 農用地の荒廃化を防止する対策については、ひまわり畑・はす田に転換しているが 1 年目の雑草は多発するため、その処理に苦慮している
- (2) 農業の高齢化が進んでいる現況の中で、地域環境を維持するためには老若男女参加型「たすけあい運動」を推進したい
- (3) 新たな企画としてトンボ・ホテルの里作りを検討したい



草刈り作業



子供会を招き水生生物観察会



ひまわりの植栽



はす田の状況



カバープランツの設置



シバザクラの植付

## 笠島ふる里集落資源保全隊（名取市）

組織概要 取組：H19～ 面積：146.39ha（田 139.18ha、畑 7.21ha）  
構 成 員：農業者 446 名・非農業者 229 名・46 団体



発表者の阿部氏

平成 26 年度 農地維持支払交付金 2,877 千円  
交付金 資源向上支払（共同活動）交付金 1,867 千円  
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 一千円

地域の概要 本地域は名取市西部の山間部に位置した純農村地帯ではあるが、近年の開発、特に他地区からの震災後移住により新興住宅地が拡大し、若い世代も多く、混住化が進んでいる地域である。

取組みの概要 農地維持活動として、各施設の機能点検実施により側溝・排水路の土砂上げ、水路の適正管理、農道や溜池の草刈り、農道の砂利敷きなどを実施。  
及び効果 資源向上活動としては施設の軽微な補修等に取り組んでいる。昨年は異常気象後の応急対策として、行政に頼らないで水路の浚渫や擁壁の設置などにも取り組んでいる。  
保全活動では、植栽活動やクリーンキャンペーン等を実施し、老人会やPTA など幅広い世代間で連携を図りながら地域住民との交流を兼ね実施。  
これまで実施したトウモロコシ祭りや生き物調査、花の植栽、クリーンキャンペーンなどにより混住化が進むこの地域でも、非農家との交流や子供たちに地域の自然環境の素晴らしさを発見してもらおうと同時に地域の景観形成が図られている。  
顔を合わせる機会が多くなり共通の話題とコミュニケーション作りの場が増えた。

課 題 庶務・会計担当の負担が大きく、役員の改選・後継者の育成が今後の課題である。  
高齢化により、今後も同じレベルでの活動継続が可能かどうか心配である。  
現在、遊休農地は未発生だが将来発生増加が懸念される為、発生防止対策が急務である。

その他 地域の財産である里山ときれいな水、農地の保全を今後も同じレベルで推移できる体制づくりの構築のため、各構成団体との連携や後継者、担い手の育成を地域全体でバックアップしていく。また、活動を通して子供たちに地域の特性を認識してもらい、そして地域を守る取組み、魅力を感じてもらい、次の世代へつなげるよう取り組んでいきたい。  
震災前に実施していた生き物調査等を復活させ、子供たちに生きた教材として提供できればと考えている。  
また、地域資源の適切な保全管理を推進する為の検討会を開催し、地域の将来の問題課題について話し合いを実施、今後も定期的に関わりし具体的対策に繋げて行く。



水路・側溝の土砂上げ



ため池の草刈り



農道適正管理、農道の砂利敷き



花の植栽活動



施設のクリーンキャンペーン



広報・啓発活動

## 内ノ浦地域農地・水・環境保全管理協定（大崎市）

組織概要 取組：H19～ 面積：208.2ha（田 208.2ha）  
構 成 員：農業者 213 名・6 団体



発表者の千葉氏

平成 26 年度 農地維持支払交付金 6,247 千円  
交付金 資源向上支払（共同活動）交付金 3,748 千円  
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 792 千円

地域の概要 大崎市（旧鹿島台町）の南玄関に位置し一級河川吉田川と国道 346 号線添いの低平な水田地帯。  
1. 県営ほ場整備事業（昭和 57 年着工～平成 7 年完了）  
2. 県営基盤整備事業内ノ浦区（平成 10 年着工～平成 16 年完了）  
で整備された地域である。

取組みの概要 農地維持支払交付金（直営工事をすることで諸経費の削減を図る）  
及び効果  
・丘陵台地からの排水路除草作業は区域を分担しトラクターモア 4 台で除草。  
・人力による除草においては主に 3 組織体（鎌巻、平渡、内ノ浦）で行っている。  
・ゲート等塗装及びスピンドルへのグリスアップ（冬期間のゲート養生）  
資源向上支払交付金（共同活動）  
・ベンチフリューム用水路の目地詰め作業（転作田：麦、大豆、青ネギへの漏水対策）  
・用水路溝畔の補修 ・農道補修（農道の中央部を剥ぎとり集積し次年度再利用）  
・小学生の子供と父母共同参加のクリーン作戦と生き物調査 ・植栽活動  
効果…・農家組合員の土地改良区賦課金が軽減された（従来までは、排水路の除草作業は、組合員の賦課金によって、まかなわれていた）  
・簡易的な水路や農道補修を多面的機能支払交付金を活用し地域の維持管理費を軽減。  
・過去に生き物調査を体験した子が中学校へ進級した現在でも自然環境や生物に興味を持ち生き物とふれあいをもっている。

課 題  
1. 除草作業の範囲が広いためトラクターモアを有効活用し効率化を図りたい。  
2. 農道補修において農道に転圧をかけアスファルト合材で農道の補強を図りたい。  
3. 二線堤バイパスが一部開通となったが、未だ土羽のまま手つかずの箇所もあり国に対して整地や環境整備を要望している。  
4. 生物に配慮し年次計画をたて、竹柵工での法面保護を実施したが、年数が経過することによって劣化することから継続した管理が必要となっている。  
5. 排水路に菱が大量に繁茂し対応に苦難している。  
6. 都市計画地内を通過する開排水路の水路管理が行き届かない。  
7. 用水ポンプの点検整備を行いたい  
8. 排水機場の費用負担について

その他 生き物調査を体験した小学生の感想作文や絵を募集し、優秀作品においては夏祭り会場で紹介し国道や生活センター内に掲示し啓発普及の一環としている。  
活動に参加できない人のために年に一回、意向調査（簡易的な用排水路の補修要望等）を行い活動計画に反映している。



生き物調査



啓発普及の看板設置



小学生クリーン作戦

## 曾根地域環境を守る会（栗原市）

### 組織概要

取組：H19～ 面積：91.5ha（田91.5ha）  
構 成 員：農業者63名・非農業者27名・6団体

### 平成26年度 交付金

農地維持支払交付金	2,746千円
資源向上支払（共同活動）交付金	1,648千円
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	一千円



発表者の狩野氏

### 地域の概要

本地域は栗原市の北西部に位置し、秀峰栗駒山を源とする迫川が東西に流れる流域に沿った圃場整備のされた水田地帯を形成する集落である。

### 取組みの概要 及び効果

自治体の行政区を活用し構成員90名で農地及び農業用施設の保全、維持管理活動等を行っている。基礎活動では、用排水路の土砂上げや農道の側溝の草刈り、農道の砂利敷き、施設の点検、地域住民との交流会、仙台市荒町小学校とのバケツ稲農業体験交流を実施。保全活動では植栽活動、生き物調査、施設管理では、水門ゲートのペンキ塗り等、行政と土地改良区、学校との連携を図りながら実施している。

本事業に取り組んでから、地域のコミュニケーションが活発になり、まとまりができてきていることで個々の問題や、課題の解決に向けた取り組みに発展するなど行政に頼る事が少なくなってきている。

### 課 題

構成員の高齢化、非農業者の増加により作業への参加者が減少傾向にある。いかにして地域の環境を守っていくか啓発活動が難しくなっている。

### その他

6年前からJAの協力を頂きながら、仙台市荒町小学校5年生とのバケツ稲農業体験交流を実施してきた。今、このように農業・漁業者の担い手不足は学校教育の不足から来ていると思われる。バケツ稲を通じた疑似体験、耕起・代掻き・田植え・稲刈り等は都会の子供たちにとっては未知の体験のようで非常に興奮し、また、興味深々で取り組んでくれている。年4回の学校に出向いての出前授業であるが、農業の大切さや食料のありがたさを伝えたいと、地域住民みんなで取り組んでいる。11月の稲刈り収穫祭には、とれたての新米ササニシキと地元野菜の具沢山の豚汁でしめくくる。子供たちの受け止め方もそれぞれで大変興味深いものがある。このような活動を通してこれからも地域が一体となり楽しい農業に取り組める体制と地域の環境を守っていききたいと考えている。



農道・水路等 草刈共同作業



農道整備・砂利敷き共同作業



水路泥上げ共同作業



バケツ稲交流 田植え作業



お米の収穫について授業風景



バケツ稲交流収穫祭  
米粉ピザと具沢山の豚汁

## 津山農地水環境保全隊（登米市）

### 組織概要

取組：H19～ 面積：87.0ha（田 87.0ha）  
構 成 員：農業者 250 名・非農業者 0 名・4 団体

### 平成 26 年度 交付金

農地維持支払交付金	2,608 千円
資源向上支払（共同活動）交付金	2,087 千円
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	一千円



発表者の佐々木氏

### 地域の概要

本地区は宮城県登米市の南部に位置し、周囲を山地に囲まれた地形の水田地帯であり、道の駅津山「もくもくランド」を中心とした東西に広がる水田が活動地域となっている。

### 取組みの概要 及び効果

ほ場整備後、農地集積により作業受託を受けた「（農）フォレストウインド津山」（平成19年設立）が中心となり、組織の構成員や農用地利用改善組合員等で協力し、農地及び農業用施設の保全・維持管理活動等を行っている。

基礎活動では、排水路の土砂上げ、農道の草刈り・砂利敷き、農業用施設の点検を実施している。保全活動では、機能診断や生き物調査等、学校や地域と連携を図りながら実施している。

本事業に取り組んでから地域が一体となり、農業の抱えている諸問題や課題の解決に向けた取り組みに大きく寄与している。

### 課 題

作業に参加していただいている方が高齢化や委託農家が増加したことにより、作業への参加者が減少してきている。今後の活動を担う若年層が減少している中、後世にいかにして引き継いでいくかが課題である。

### その他

学校教育において、自分の住んでいる地域の生態系を調査するうえで、小学生のうちから環境保全に興味を持ってほしく、横山小学校4年生を対象に生き物調査を行っており、学校や地域のコミュニティ推進協議会と協力し、地域の花壇への植栽活動や学校田を利用した小学生（4・5・6年生）の環境学習（田植え体験）なども行っている。

また、本地域は中山間地であるため、大雨等による自然災害がたびたび発生し、農地や各施設に大きな被害をもたらすことがある。

こういったことを踏まえ、地域の環境を守るため、今後も活動を通して環境保全を維持することを心がけ、地域が一体となった農業に取り組みやすい体制を築いていきたいと考えている。



水路の泥上げ作業



水路の草刈り作業



農道の路面維持作業



生き物調査（小学校）



田植え体験（小学校）



看板の設置



## 新田地区環境保全会（東松島市）

組織概要 取組：H24～ 面積：32.4ha（田 32.4ha）  
構 成 員：農業者 16 名・非農業者 6 名・8 団体



発表者の内海氏

平成 26 年度 農地維持支払交付金 986 千円  
交付金 資源向上支払（共同活動）交付金 778 千円  
資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 一千円

地域の概要 東松島市の北部に位置し、低い山に囲まれた低湿地帯で 沢沿いに水田が広がっている。

取組みの概要 行政区を活用し、構成員 22 名と各団体の協力のもと農地及び農業用施設の保全・維持管理等を行っている。  
及び効果 基礎活動では、排水路の除草・土砂上げ・支障木伐採 農道やため池の草刈り 施設の点検等を行っている。  
保全活動では、花の植栽、循環かんがい、地域子供会と連携しての生き物調査など行っている。  
地域一体となって活動に取り組み、地域の保全活動に積極的に取り組むきっかけとなっている。

課 題 構成員の高齢化により作業への参加者が減少傾向にあり、今後の活動維持が課題になると思われる。事務処理や会計処理の簡素化を望む。

その他 地域の方々の協力により、花の植栽等、地域環境の向上に役立っている。  
子供たちも楽しく参加しており、地域を考えるきっかけとなっている。  
今後とも、地域一体となり活動に取り組み、地域環境の保全・維持活動に取り組む体制を作り上げていきたいと考えている。



水路の草刈り



水路の支障木伐採



生き物調査（子供会）



農道の草刈り



ため池の草刈り



植栽活動

## 宮内地区地域資源保全会（気仙沼市）

組織概要 取組：H26～ 面積：7.32ha（田 6.16ha 畑 1.16ha）  
構 成 員：農業者 16 名・非農業者 0 名・1 団体

平成 26 年度 交付金	農地維持支払交付金	208 千円
	資源向上支払（共同活動）交付金	一千円
	資源向上支払（施設の長寿命化）交付金	一千円



発表者の芳賀氏

地域の概要 本地区は気仙沼市の西部に位置し、2級河川馬籠川右岸に広がる小さな水田地帯である。

取組みの概要  
及び効果 取水頭首工を同じくする耕作者・土地所有者16名で保全会を組織し、農業用施設の保全・維持管理活動等を行っている。

基礎活動では、用水路の草刈りや土砂上げ、補修、農道の草刈りや砂利敷き、施設の点検を実施。保全会活動では、構成員全員に対する農業経営意向調査を実施し、遊休農地の発生抑制に努めている。

従来、2系統ある水路の維持管理は水路ごとに別々に行ってきたが、高齢化が進む中で作業従事者が減少してきていたが、保全会結成により団地内の耕作者が協働して取り組む事によって効率的に行われるようになった。また、これまで実施できなかった農道の補修作業にも対応できるようになった。

課 題 後継者不足による耕作面積の縮小や離農などにより、新たな遊休農地が発生する恐れがあり、その利活用を図りたいが経営規模拡大を希望する者がいない。この傾向が年々拡大するものと思われる。

その他 本地区は気仙沼市本吉町の観光施設である「モ〜ランド本吉」の玄関口にあたることから、訪れる人の心を癒していけるよう美しい農村風景を維持して行きたいと考えている。  
そのため、今後は早期に遊休農地の利活用を図るとともに、地区を横断する「モ〜ランド本吉」への市道の両側に花を植栽したい。その植栽活動に地域住民も参加していただき、地域全体の景観維持につなげていきたい。



水路の土砂上げ



頭首工取水口の土砂上げ



農道の補修作業①



農道の補修作業②



「モ〜ランド本吉」の玄関口



「ひまわり」の試験植栽

## 総会・各種会議の開催状況

### ◆平成 27 年度 第 2 回 市町村担当者会議

平成 27 年 7 月 17 日（金）に宮城県土地改良会館大会議室において、第 2 回市町村担当者会議を開催しました。

会議には、市町村等の担当者 82 名が出席し、「現地見回りの実施方法」、「農地維持支払及び資源向上支払（共同）の活動として実施する施設の長寿命化のための活動について」、「活動の手引き」、「支援研修会」、「活動組織が行う活動の外部委託」、「6 月末時点の計画申請状況」、「資源向上支払（施設の長寿命化）における新規の取り扱い」などについて説明、意見交換を行いました。



### ◆平成 27 年度 第 2 回 幹事会

平成 27 年 9 月 3 日（木）に宮城県土地改良会館大会議室において、第 2 回幹事会を開催しました。

会議には、26 名（うち事務局 14 名）が出席し、「平成 27 年度の申請状況」について報告し、併せて「第 1 回臨時総会の議案（案）」、「臨時総会の議案の承認方法」、「活動に関する指導、助言の実施方法書の制定」について協議しました。協議案件については、全会一致で承認となりました。



### ◆平成 27 年度 第 1 回 臨時総会

第 1 回の臨時総会では、今年度の協議会の事業実施について、国の割り当てに伴い承認が必要となった「補正予算」について書面議決によりご審議をいただき、「第 1 号議案 平成 27 年度収支補正予算について」は、全会一致で承認されました。



### ◆平成 27 年度 第 3 回 市町村担当者会議

平成 27 年 10 月 6 日（火）に宮城県土地改良会館大会議室において、第 3 回市町村担当者会議を開催しました。会議には、市町村等の担当者 64 名が出席し、「平成 28 年度予算概算要求の概要」、「平成 28 年度要望量調査結果」、「中間指導の実施」、「広域活動組織を設立する場合の手順」などについて説明、意見交換を行いました。





## 協議会からのお知らせ

### ◆中間指導の実施について

多面的機能支払交付金に取り組んでいる活動組織を対象に、各市町村において指導、助言を行う『中間指導』が実施されています。

中間指導では、計画書に位置づけた活動の実施状況や記録、金銭の出納状況や残高、総会などの開催状況などについて確認が行われますので、書類等の整理をお願いいたします。

なお、中間指導で指摘、指導を受けた事項については、速やかに改善してください。

### ◆『第3回みやぎのふるさと農美里<sup>のんびり</sup>フォトコンテスト』の開催について

宮城県、宮城県中山間地域活性化推進協議会、宮城県土地改良事業団体連合会（水土里ネットみやぎ）三者による共催、また、みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会、宮城県多面的機能支払推進協議会、宮城県写真連盟による後援で、『第3回みやぎのふるさと農美里（のんびり）フォトコンテスト』が今年も開催されています。

宮城県内の農村の景観や暮らしぶりなどについて県民に興味と関心を抱いていただき、みやぎの農業・農村の魅力を広く紹介することを目的として開催しておりますので、ご興味のある方はぜひご応募ください。なお、詳細については、水土里ネットみやぎのホームページをご覧ください。

⇒ (<http://www.mlw.or.jp/news/5845/>)



### ◆『みやぎまるごとフェスティバル 2015』で本事業をPRしました

去る10月17日と18日の2日間、宮城県庁及び隣接の勾当台公園、市民広場において『みやぎまるごとフェスティバル 2015～うまい味（み）や技（ぎ）、あります。～』が開催されました。

県産品の消費拡大及び地場産業の振興を図るとともに、創造的復興に向け着実に歩みを進める宮城の姿を発信することを目的として毎年開催されているイベントです。

推進協議会では、この貴重な機会に「農業・農村の持つ多面的機能」や「多面的機能支払制度」について、広く一般県民に認知し理解してもらうためパンフレットを作成しPRしました（パンフレットは協議会ホームページにアップロードしています）。



広報誌 ぐるみ（平成27年度第2号） 平成27年11月発行

宮城県多面的機能支払推進協議会

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号（宮城県土地改良会館内）

TEL 022-263-5829 Fax 022-268-6390

ホームページ <http://www.nmk-miyagi.org/>

E-mail [info@nmk-miyagi.org](mailto:info@nmk-miyagi.org)